

# 薬局における患者対応等に関する調査(概要)

## — ジェネリック医薬品の調剤を中心として —

厚生労働省  
政策統括官付政策評価官室  
アフターサービス推進室

### 調査の目的

ジェネリック医薬品の調剤に積極的な7薬局について、調剤の各段階における取組をヒアリング調査し、薬局などがジェネリック医薬品への円滑な切替えや患者ニーズに的確に応えるための参考情報として、提供する。

### 調査の結果 — 調剤の各段階における調査先薬局の取組 —

#### ①ジェネリック医薬品の評価と採用

収集した医薬品情報に基づき品質、有効性や安全性はもちろん、経済的効果や製剤上の工夫点を総合的に評価し、採用する。

「製剤上の工夫が進み飲みやすくなったジェネリック医薬品」  
(ゼリー剤の例)



(ゼリー剤の例)

#### ②調剤時における患者対応

ジェネリック医薬品への切替え調剤に当たっては、薬剤情報提供文書に加え、先発医薬品との比較資料や具体的な薬価負担軽減額を提示・説明し、患者が理解・納得した上で銘柄を選択できるようサポートする。

#### ③服用後のアフターフォロー

患者が安心して服用できるように継続的に薬効と副作用を確認し、万一、患者に体調変化等が生じた場合は、同意を得た後、処方医へ情報提供する。

### 調査のまとめ

調査先の薬局では、ジェネリック医薬品への切替えを円滑に進めるため、商品の総合的な評価に基づく採用、資料や薬価軽減額の提示等による丁寧な患者説明を実施している。さらに、服用後の継続的な薬効・副作用の確認と医療機関への情報提供(フィードバック)により、患者や医療機関との信頼関係の構築に努めている。

### ジェネリック医薬品の調剤を中心とした調剤の各段階における薬局の取組

